



一橋大学長 中野 聡氏 63

指定国立大 文理共創で守る

世界最高水準の教育研究活動を目指す指定国立大学法人。総合大学や医療・工学系が指定されるなか、一橋大（東京都）は唯一の文系大学として2019年に指定されたが、一時、取り消しの危機に直面していた。文理融合の研究促進を掲げ挑戦する同大の戦略について、中野聡学長（63）に聞いた。

——一橋大はソーシャル・データサイエンス学部の新設や、国際的な業績のある新規教員の重点配置などを将来構想に掲げ、指定国

なかの・さとし 専門はアメリカ・フィリピン史。一橋大の社会学研究科長や副学長を経て、2020年に学長に就任した。

分野横断研究 取り消し危機救う

指定国立大学法人 海外の有力大学と競争できる国立大を文部科学省が指定することが条件で、現在の指定校は、東京大など10校。指定されると、国際的な業績を持つ研究者を招くために大学独自の高額報酬の設定が可能になるほか、研究成果を活用した会社に出資することなども認められる。

立大となった。ところが昨年3月、文部科学省の有識者委員会で、指定継続に疑問符がつき、取り消しの可能性が浮上した。何が原因か

「教員の新規採用が予定どおり進まなかった。コロナ禍で海外からの採用が厳しかったことに加え、高給

を提示する米国の巨大IT企業などに流れてしまった。教員数が減ったこともあり、指定の前提となる、国の科学研究費助成事業（科研費）新規採択件数の基準を満たせなくなった」

「若手にとって魅力的な研究環境を整えた。具体的には、学内業務を極力免除し研究に専念できるようにしたほか、経営学や経済学、法学、データサイエンスなど分野横断的な研究組織に所属させ、人的なネットワークが作れるようにした。300人を切っていた教員数は22年度に306人となり、科研費の採択件数も増加した」

「政府が理系を重視するなか、文系は難しい立ち位置にあったのでは」

「日本の社会科学の改革をけん引するという期待から指定されたと考えており、文系だから難しかったというのはあたらえない。近年、理系による社会課題の解決がさかんに議論されているが、一橋大は社会科学がリードする文理融合、文理共創を打ち出していた」

「指定国立大というレピュテーション（評価）が重要だからだ。これまでも一橋大の国際的な評価は高く、私の研究者としてのキャリア形成にも役に立った。だが、今は分岐点。何もしないと縮小していくだけだ。海外を見れば、社会科学系の英ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス（LSE）やシンガポール経営大などは色んな努力をし、評価を上げてきた。我々も、そうした大学から学び、国際的な評価を高めていきたい」

「四大学連合というのは、別々の大学だから仲良くできるという面がある。医科歯科と東工大については、統合の成功を心から祈っていると両大の学長にも伝えしたが、一橋が合併や統合をする話はない」

——今後の見通しは

「21年度と22年度、積極的に人材獲得を進めてきたが、さらなるスケールアップ（規模拡大）も必要。そのためにも、ソーシャル・データサイエンス分野での企業との共同研究による外部資金の獲得や、卒業生を中心とした募金の強化など、社会から幅広く支援を得ながら財務基盤を充実させたい」

れる運営費交付金額でも、一橋大は指定10校の中で最小だ。なぜ指定国立大に申請したのか

必要なのかを考えるのは、社会科学が得意とする分野だ。一橋は東京医科歯科大、東京工業大、東京外国語大と教育研究で連携する「四大学連合」の一員だ。文理共創に向け、さらに連携を強化したい」

指定国立大一覧

大学名・指定時期	運営費交付金額 (2022年度)
東北大学 2017年6月	453億円
東京大学 17年6月	818
京都大学 17年6月	559
東京工業大学 18年3月	222
名古屋大学 18年3月	418*
大阪大学 18年10月	442
一橋大学 19年9月	59
筑波大学 20年10月	358
東京医科歯科大学 20年10月	138
九州大学 21年1月	389

※名古屋大と岐阜大の運営法人「東海国立大学機構」への交付額

「例えばロボット医療など、新しい技術を普及させる際、社会の仕組みの中に適切に組み込んでいくには、どういった政策や促しが

*「eyes」では、教育界で注目の人へのインタビューを随時掲載します。

（聞き手・山田睦子）